

()

|

|

|

|

|

コバシツューエイローター



お 願 い

- 1.部品ご注文の際には型式・コード・品名・数量・機械番号をご明記ください。
- 2.部品は必ずコバシ純正部品をご使用願います。
- 3.改良のため、部品形状及び内容の一部を予告なく変更することがあります。

(市販の類似品を使用されると早期破損の原因となります。)

⚠ ご 注 意

1.パーツリストのご使用について

(1) 互換性の記号

旧←
新← } 新旧部品兼用可

旧←
新← } × 新旧部品兼用不可

旧←
新← } 矢印の方向のみに部品兼用可

(2) 実施機番の表示

新旧兼用不可部品と追加・廃止部品の実施機番を記載してあります。

また、イラスト図中に新旧の部品と実施機番を記載してあります。

2.ジョイント・オートヒッチアーム・ヒッチ・オプションの記載について

ジョイント総合版・オートヒッチアーム総合版・ヒッチ総合版・オプション総合版にて、変更を記載してあります。

最新の情報はそちらを参照ください。

なお、トラクタ装着の性格上、作業機機種・生産年式をわたる場合もあります。

ジョイント型式・オートヒッチアーム型式・ヒッチ型式・オプション型式を確認して、ご注文ください。

(作業機本体に属するジョイントは除く)

3.補用部品の塗装色について

現行量産機種の塗装色となっております。

在庫品につきましては生産時点の量産品塗装色となっております。

4.爪の記載について

爪は統廃合などにより、最新の情報は爪価格表を参照ください。

5.本パーツリストは改良のため予告なく変更することがあります。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。

従いまして、その後のご注文につきましては、在庫限りの供給とさせていただきます。

はじめにお読みください

フローティングシールメンテナンスキット102 D020007

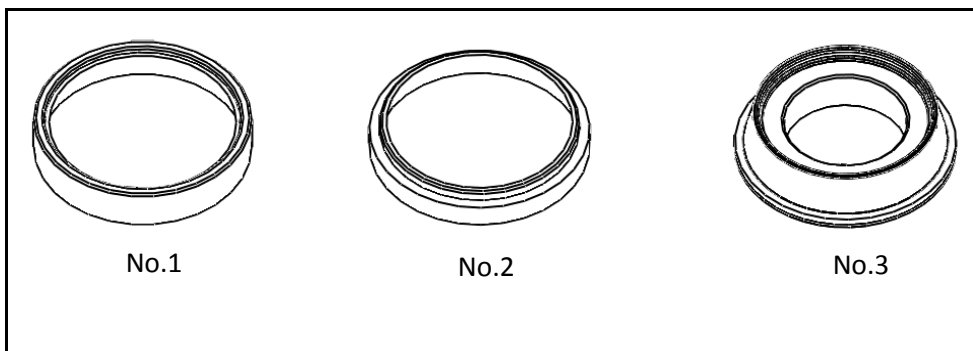
フローティングシール組込要領書

D020011
-000

【注】フローティングシールはフローティングメンテナンスキットを必ず使用して組込んでください。

1

| No | 部品コード | 部品名 | 数量 |
|-----|---------|------------------------|----|
| 1 | D020008 | シールガイド1 | 1 |
| 2 | D020009 | シールガイド2 | 1 |
| 3 | D020010 | 押込み金具 | 1 |
| 4 | D020011 | フローティングシール組込要領書(本書) | 1 |
| 1~4 | D020007 | フローティングシールメンテナンスキット102 | 1 |



2

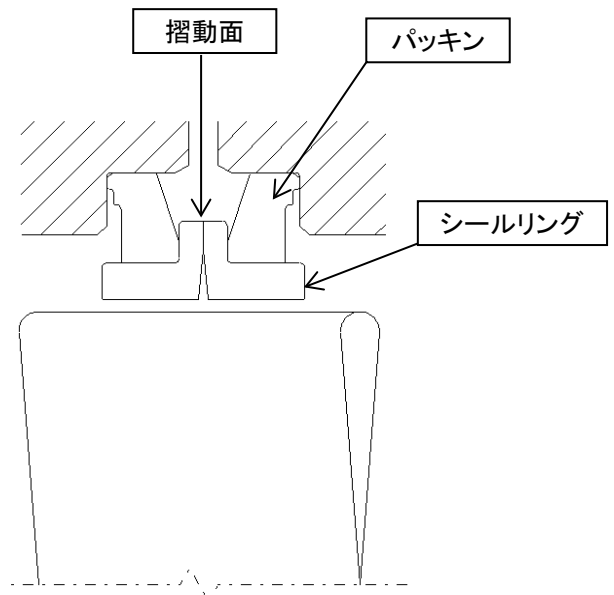


図 1

③ フローティングシール組込み前の点検



- 1) フローティングシールの点検は、組立作業の直前に行ってください。
 - 2) フローティングシールを取り扱う時は軍手等を使用せず、きれいに洗った乾いた素手または薄いゴム手袋で行ってください。
 - 3) 取り扱い中に誤ってシールリングに打痕がついた可能性のあるフローティングシールは使用しないでください。
 - 4) メンテナンス等でフローティングシールを分解した場合は、必ず新品に交換してください。
- 【守らないと】
油モレが発生する可能性があります。

(1) シール組込工具の点検

○シール組込工具に鉄粉、土砂、塗料等の異物が付着していないか確認し、異物が付着している場合は、圧縮空気等で除去するか、きれいなウエスで拭き取ってください。

(2) シール組込溝(チェンケースプレート、コーウンフランジシャフトL)の点検

○シール組込溝にバリやカエリ、ゴミ等が無いことを確認してください。バリやカエリがある場合は、シールを破損させる原因になりますので、サンドペーパー等で軽くこすって除去してください。

(3) フローティングシールの点検

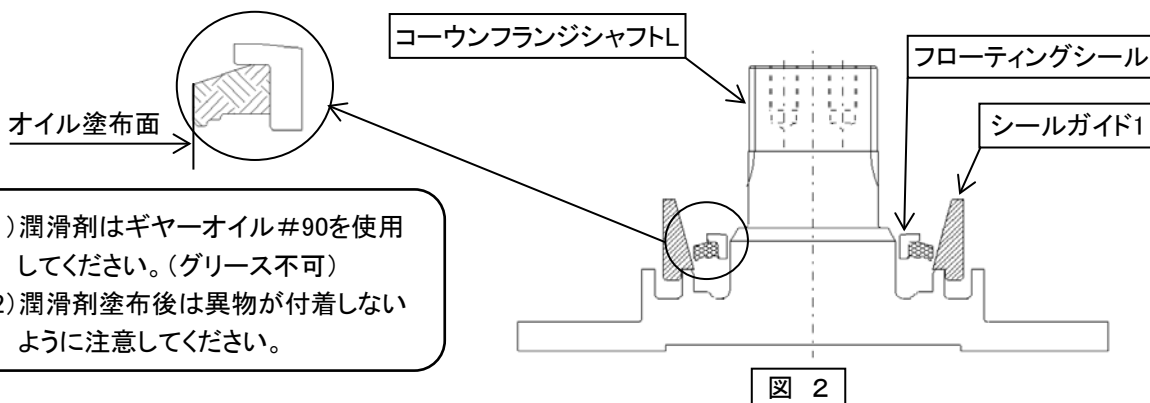
○フローティングシールに傷や大きい欠けが無いか確認してください。万一、傷や大きい欠けがある場合は、使用しないでください。

○摺動面に錆が発生していないか確認を行ってください。錆が発生しているフローティングシールは使用しないでください。

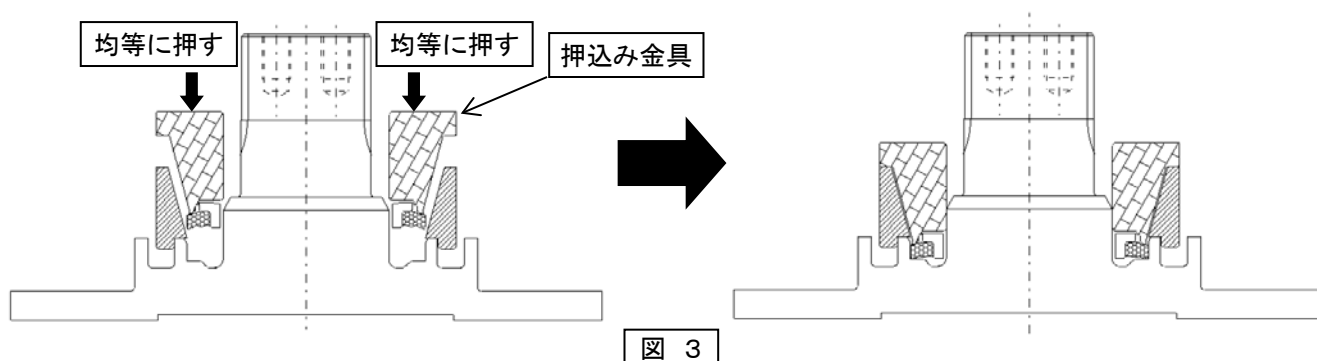
④ フローティングシールの組込み

○コーウンフランジシャフトLへの組込み

(1) コーウンフランジシャフトLにシールガイド1をセットします。挿入性を高めるため、シールの外周面に薄くオイル(#90)を塗布し、シールガイド1にセット(図2)します。この時フローティングシールに大きな傾きが無いように注意してください。



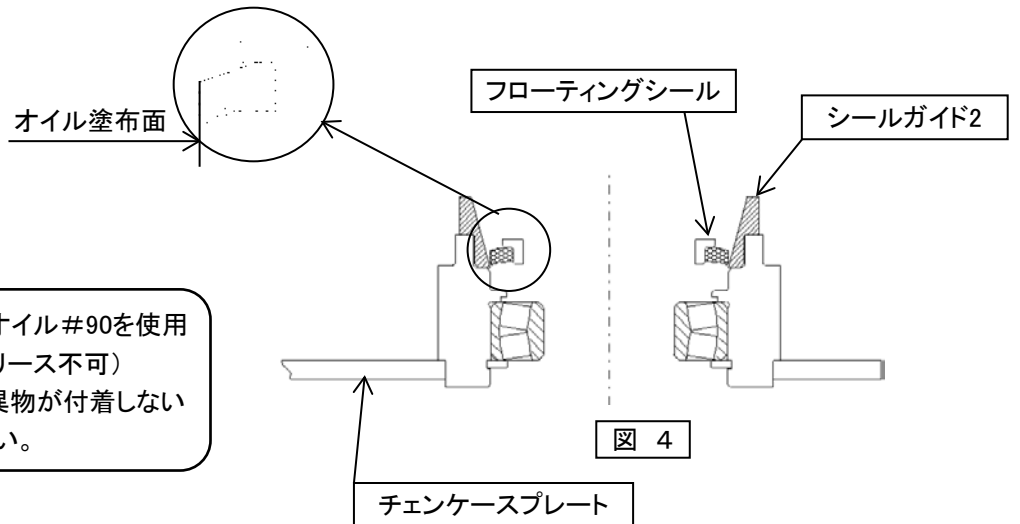
(2) 押込み金具をシールに当て、そのままシールガイド1に当たるまで手で強く押込みます。(図3)



(3) 押込み金具とシールガイド1を取り外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりが無いか確認してください。

○チェーンケースプレートへの組み込み

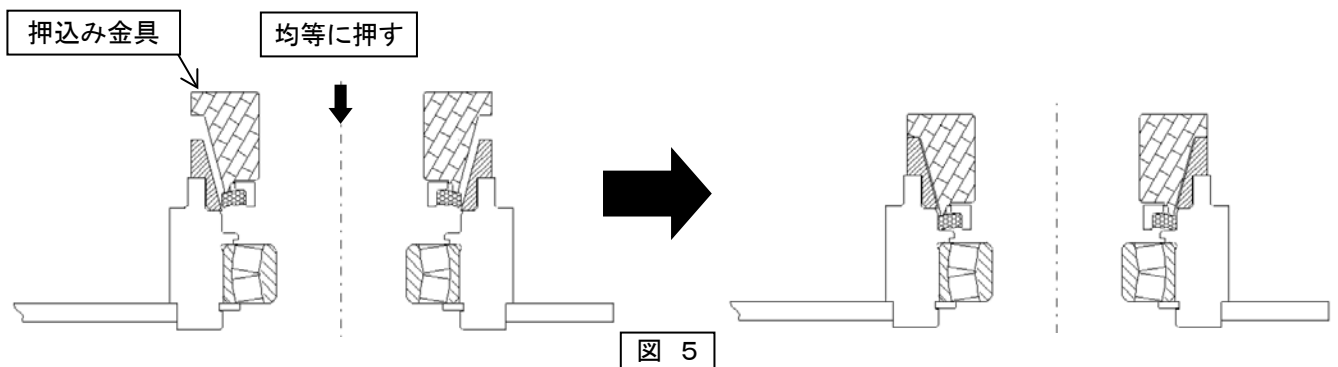
- (1)チェーンケースプレートにシールガイド2をセットします。挿入性を高めるため、シールの外周面に薄くオイル(#90)を塗布し、シールガイド2にセット(図4)します。この時フローティングシールに大きな傾きが無いように注意してください。



注意

- 1) 潤滑剤はギヤオイル#90を使用してください。(グリース不可)
- 2) 潤滑剤塗布後は異物が付着しないよう注意してください。

- (2) 押し込み金具をシールに当て、そのままシールガイド2に当たるまで手で強く押し込みます。(図5)



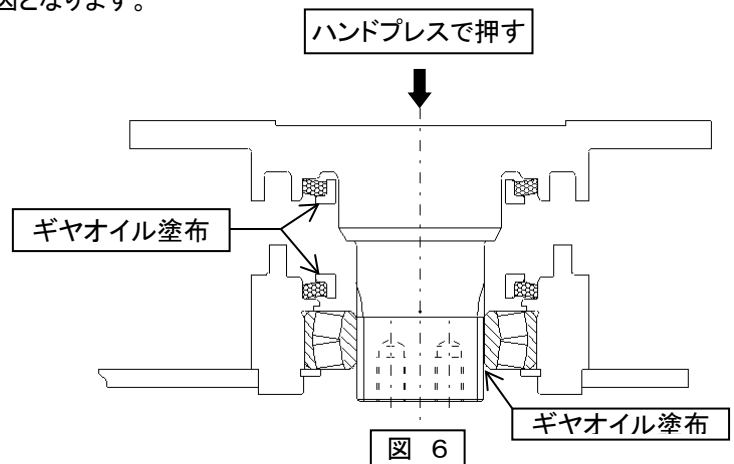
- (3) 押し込み金具とシールガイド1を取り外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりが無いか確認してください。

○コーウンフランジシャフトLとチェーンケースプレートの組み込み

- (1)チェーンケースプレートとコーウンフランジシャフトLに組み込んだフローティング摺動面およびベアリング内周部にギヤオイル(#90)を薄く塗布してください。(図6)
この時、フローティングシールに細かいゴミが付着しないように注意してください。
- (2)チェーンケースプレートを下にして平坦な台に置き、フローティングシール同士が向き合うように上からコーウンフランジシャフトLをハンドプレス等で組み付けてください。(図6)この時、ハンマー等を使用して叩き込まないください。フローティングシールが損傷しオイル漏れの原因となります。

注意

ハンマー等で叩き込まないでください。フローティングシールが損傷し、オイル漏れの原因になる恐れがあります。



⑤ フローティングシール交換後の注意事項

- (1) チェンケースにオイルを入れた後、耕うん軸を数回手回しさせてください。
(手回しすることで、フローティングシールにオイルが行き渡り、潤滑を助ける効果があります。)
- (2) この時トルクが異常に高くなっていないことを確認してください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ...

KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

☎ (086) 298-3112

インターネットでも弊社の情報がご覧いただけます。

<http://www.kobashikogyo.com>

| | | | |
|---------|-----------|-----------------------|------------------|
| ■北海道営業所 | 〒071-1248 | 北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番 | ☎ (0166) 49-0070 |
| ■東北営業所 | 〒024-0004 | 岩手県北上市村崎野13地割35-1 | ☎ (0197) 71-1160 |
| ■関東営業所 | 〒321-3325 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1 | ☎ (028) 687-1600 |
| ■新潟営業所 | 〒942-0041 | 新潟県上越市安江477-1 | ☎ (025) 546-7747 |
| ■岡山営業所 | 〒701-0165 | 岡山市北区大内田727 | ☎ (086) 250-1833 |
| ■九州営業所 | 〒861-2236 | 熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F | ☎ (096) 286-0202 |